

展示No.41	区分	部品	素材/材料	設備/装置	金型/治工具	システム/ソフトウェア	その他
提案名	デジタルツイン（CAE×計測×AIの融合）による 圧壊試験時の内部状態可視化システム			工法	試験・計測・ 評価	新規性	世界初
会社名	(株)先端力学シミュレーション研究所			所在地	〒112-0002 東京都文京区小石川5-5-5 プライム茗荷谷ビル5F		
連絡先	部署名：営業・事業企画部 担当名：古田 一如			URL	https://www.astom.co.jp		
				Tel No.	070-7414-1352		
				E-mail	furuta@astom.co.jp		
主要取引先	・トヨタ自動車（株）・トヨタ車体（株） ・（株）豊田自動織機・小島プレス工業（株） ・池上金型（株）・豊田汽車（中国）			海外対応	<input checked="" type="checkbox"/> 可 [生産拠点国] <input type="checkbox"/> 否 拠点は国内のみ		

提案内容

提案の狙い		適用可能な製品 / 分野			
<input checked="" type="checkbox"/> 原価低減 <input type="checkbox"/> 品質/性能向上 <input type="checkbox"/> 質量低減 <input type="checkbox"/> 安全/環境対策 <input type="checkbox"/> 生産（作業）性向上 <input type="checkbox"/> その他（ ）		・バッテリーパック			
従来		新技術・新工法			
<p>従来技術</p> <p>NGの原因は技術者ノウハウで対策手戻りが発生（n=3〜5程度）</p> <p>【課題1】試験条件設定の工数大</p> <p>【課題2】OK/NG判定のみ、現象可視化できない</p>		<p>新技術</p> <p>可視化情報に基づいた設計フィードバック（n=1〜2）</p> <p>【特徴1】最適試験条件の提示</p> <p>【特徴2】パック内部の破壊過程の可視化</p>			
セールスポイント（製造可能な精度 / 材質等）		問題点（課題）と対応方法			
<ul style="list-style-type: none"> 従来、設計・試作段階で可視化・評価できなかった試験体内部の破壊状態を、任意の部位・時刻で評価が可能 CAE×計測×AIのデジタル先端技術を融合・フル活用 試験体の内部温度評価システムも応用開発中 		<ul style="list-style-type: none"> 試験種、試験体種など汎用性の向上 			
開発進度（2022年9月現在）			パテント有無		
<input type="checkbox"/> アイデア, <input type="checkbox"/> 試作/実験, <input checked="" type="checkbox"/> 開発完了, <input type="checkbox"/> 製品化完了（採用： <input type="checkbox"/> 実績有, <input type="checkbox"/> 予定有, <input type="checkbox"/> 予定無）			無		
従来との比較	項目	コスト	質量	生産/作業性	その他（品質/性能向上）
	数値割合	開発コスト：50%低減	—	—	—

システム/ソフトウェア